

就労準備型 放課後等デイサービス

ぽこあぽこ

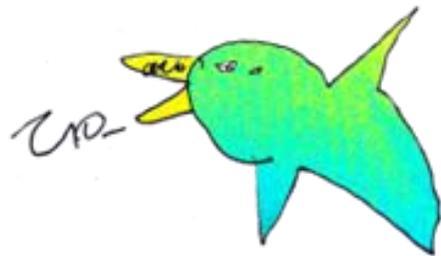
支援プログラム公表



株式会社 Glove Support

経営理念

私たちは地域福祉に貢献し、様々なハンデや特性でお悩みの当事者ならびにその家族を支える伴走型社会の実現を目指します。



ぽこあぽこ

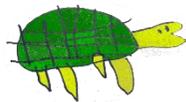
支援方針

全肯定

- ・ぽこあぽこが好き。通いたい。
- ・好きな職員がいる。なんでも話せる、相談できる。
- ・気の合う友達がいる。
- ・何をやってもありのままの自分を受け止めてくれる。
- ・ワクワクするような活動がある。
- ・居心地の良い雰囲気である。 …etc.

【大目標】

安心して過ごせる楽しい場所であること(居場所づくり)を意識する。



ぽこあぽこ 支援の三本柱

1 自立スキル...

自分に出ること出来ないことの判断ができる

2 ソーシャルスキル...

出来ないことを他者に援助を求めることができる

3 就労スキル...

働くことについてイメージができる



「ぽこあぽこ」では、「**全肯定**」の支援を大切にしながら、子どもたち一人ひとりの個性と成長のペースに寄り添い、安心して自分らしく過ごせる環境をつくっています。

支援プログラムは、厚生労働省の発達支援ガイドラインで示されている「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの成長のポイントをもとに、「ぽこあぽこ」独自の7つのカテゴリ(生活・手先・言葉・身体・夢・就労・心)を組み合わせています。

「**できた!**」という体験をたくさん積み重ねることで、「**もっとやってみたい!**」という気持ちを引き出し、自然と自信につながるようにサポートしていきます。

生活 × 健康・生活(身の回りのことを「見て分かる」工夫でサポート)

「生活」は、毎日をスムーズに過ごすための大切な力。片付けや着替え、お金の管理や掃除などを、ひとつずつ分かりやすくサポートします。予定や手順が分かりやすいようにチェックリストやイラストを活用し、自分でできることを少しずつ増やしていきます。「やってみたらできた！」を積み重ねて、自信を育てます。

手先 × 運動・感覚(楽しく遊びながら、手先の器用さをアップ)

「手は、もうひとつの“脳”」。ハサミを使った工作や折り紙、ちょっとしたDIYやパソコンのタイピングなどを通じて、手の動きや指先の感覚を育てます。手を使うことで集中力がアップし、細かい作業にも挑戦しやすくなります。「できた！」の成功体験を増やしなが、コツコツ続ける力も育てます。

言葉 × 言語・コミュニケーション(言葉のやり取りを楽しく練習)

「話すって楽しい！」と思えることが、コミュニケーションの第一歩。言葉で伝えるのがちょっと苦手な子には、絵カードやジェスチャーを活用しながら、無理なく言葉のやり取りを楽しめるようにします。ロールプレイを取り入れ、「お願いをする」「ありがとうを伝える」など、社会で役立つスキルを少しずつ身につけます。

身体 × 運動・感覚(遊びの中で体のバランスを整える)

「体を動かすと、心もスッキリ!」。ストレッチやヨガ、楽しいゲームを通じて、自分の体をうまく使う感覚を育てます。バランスをとったり、力加減を調整したりすることで、動きのぎこちなさを減らし、のびのびとした動作ができるようになります。

夢 × 認知・行動(「好き」を見つけて、未来を描く)

「未来って楽しそう!」と思えるように、子どもたちの**「好きなこと」「やってみたいこと」**と一緒に探していきます。職業体験や夢マップづくりを通じて、「どんな仕事があるんだろう?」「自分は何が得意かな?」と考える機会を増やします。「目標を持つことはワクワクすること!」そんな気持ちを大切に育てます。

就労 × 人間関係・社会性(お仕事ごっこで社会のルールを学ぶ)

「働くってどんな感じ?」をイメージしやすくするために、簡単なお仕事体験や接客ロールプレイを取り入れます。チームで協力して作業をする練習をしたり、お客さん役と店員役を交代しながら接客の仕方を学んだりすることで、「仕事って楽しい!」と思える機会を増やします。

心 × 健康・生活 & 人間関係・社会性(気持ちを整理する方法を見つける)

「心が落ち着くと、毎日がもっと楽しくなる」。気持ちの整理の仕方や、リラックスする方法を知ることで、ストレスとの上手な付き合い方を身につけます。深呼吸を試してみる、好きな絵を描いてみる、気持ちを言葉にしてみるなど、自分に合った方法を一緒に探していきます。

子どもたちの「好き」や「得意」は一人ひとり違います。

同じ遊びでも、ある子にとってはワクワクするチャレンジ、別の子にとっては安心できるリラックスの時間。

「できること」を増やすだけでなく、「自分らしくいられる時間」を大切にすることも支援のひとつです。

だからこそ、支援プログラムに「決まった形」はありません。

「ぽこあぽこ」では、子どもたち一人ひとりのペースや興味に合わせて、無限の可能性の中から最適な方法を一緒に探します。

「この子にはどんなサポートが合うかな？」「今はどんなことに興味を持っているかな？」

その子自身が「楽しい！」「もっとやりたい！」と感じられることを軸にしながら、支援を組み立てます。



支援プログラムは無量大。

それは、「その子らしさ」を尊重し、未来への可能性を最大限に広げるため。

子どもたちが安心して自分を表現し、一歩ずつ成長できる場所をつくるのが、私たちの支援のカタチです。



「ぽこあぽこ」では、特別なことを押しつけるのではなく、「**その子らしいやり方**」でできることを増やし、
毎日を**楽しく**過ごせるようにサポートします。



「ちょっとずつ、でも確実に。」

子どもたちの**可能性**を信じ、**一歩ずつ未来へ進める環境**をつくります。

事業所名	就労準備型放課後等デイサービス ほこあぼこ				支援プログラム（参考様式）	作成日	2025年	1月	10日
法人（事業所）理念	私達は地域福祉に貢献し、様々なハンデや特性でお悩みの当事者ならびにその家族を支える伴奏型社会の実現を目指します。								
支援方針	「ほこあぼこ」では、「全肯定」の支援を大切にしながら、子どもたちが自分らしく成長できる環境を提供します。支援プログラムは、発達支援ガイドラインに基づき、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの領域をもとに、「生活・手先・言葉・身体・夢・就労・心」の7つのカテゴリを設定。個々の特性に合わせたオーダーメイドの支援を行い、「できた！」の経験を積み重ねて自己肯定感を育むことを目指します。								
営業時間	10時	0分	18時	30分	送迎実施の有無	あり	なし		
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	生活リズムの安定を図り、着替え・歯磨き・食事・トイレなどの身の回りの習慣を、視覚支援やタイマーを活用しながら身につけます。また、食事のマナーや公共の場での振る舞いをロールプレイや実践を通じて学び、日常生活を自立して送る力を育てます。							
	運動・感覚	体の使い方やバランス感覚を養うために、ストレッチ・リズム運動・感覚統合遊びを取り入れます。また、感覚過敏や鈍麻に応じた調整を行いながら、ボディイメージの形成や力加減の調整を学び、無理なくのびのびと動ける身体づくりを目指します。							
	認知・行動	物事の理解力や問題解決力を高めるために、パズルやルールのある遊びを取り入れ、考える力を育てます。また、順番や時間の管理、計画を立てる練習を行い、自分で考えて行動できる力を養います。さらに、成功体験を積み重ねながら「できる！」という自信を持ち、適切な判断や自己コントロールができるようサポートします。							
	言語コミュニケーション	言葉での表現力や相手の気持ちを理解する力を育てるために、絵カード・ロールプレイ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を活用し、会話のキャッチボールや適切な言葉の使い方を学びます。また、自分の気持ちを言葉で伝える練習や、聞く力・相手の意図をくみ取る力を養い、円滑なコミュニケーションを身につけます。							
	人間関係社会性	集団の中での適切な関わり方やルールを理解し、協力や譲り合いの姿勢を身につけるために、グループ活動・ロールプレイ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）を取り入れます。また、あいさつや感謝の言葉を伝える練習を行い、相手の気持ちを尊重しながら円滑な対人関係を築く力を育てます。							
家族支援	保護者が安心して子育てできる環境を整えるために、個別相談や情報提供を行い、子どもの成長を共に見守ります。また、家庭と施設の連携を深めるために、年に二回の懇親会を開催し、保護者同士の交流や悩みの共有を促進しながら、支援の方向性を共に考える機会を提供します				移行支援	将来の自立や社会参加を見据え、日常生活スキル・職業準備・対人関係スキルを段階的に習得できるよう支援します。実際の職場体験や模擬作業、金銭管理・公共交通機関の利用練習を通じて、働く力や地域での生活力を養い、個々に合った進路選択や就労に向けた準備を進めます。			
地域支援・地域連携	子どもたちが地域社会の中で自然に関わりを持てる環境を整えることを目指し、今後は地元の学校や企業、行政機関、福祉団体と連携を深めながら、地域全体で子どもたちの成長を支える体制を構築していきます。現状では十分に取り組めていませんが、今後は地域のイベントへの参加やボランティア活動、職業体験の機会を増やし、地域の方々との交流を通じて社会性を育む支援を展開していくことを目指します。				職員の質の向上	支援の専門性を高めるために、定期的な研修・勉強会の実施や外部講師による指導を取り入れ、知識と実践力の向上を図ります。また、職員間のケース会議や振り返りを行い、支援の質を均一化しながら、より効果的な関わり方を模索します。さらに、自己研鑽の機会を増やし、子どもたちや保護者にとって信頼される専門性の高い支援者を育成していきます。			
主な行事等	お花見・夏祭り・遠足・ハロウィン・クリスマス会など季節を感じるイベントに加え、職業体験・調理体験を通じて社会性や生活スキルを育み、年2回の懇親会で家庭との連携を深めます。また、月に一度の「ほこ支給」として、子どもたちが楽しみながら達成感を得られる特別な取り組みを実施し、日々の頑張りをしっかりと評価しながら成長を支えます。								